

## 前回部会（平成 26 年 2 月 5 日）等における指摘事項

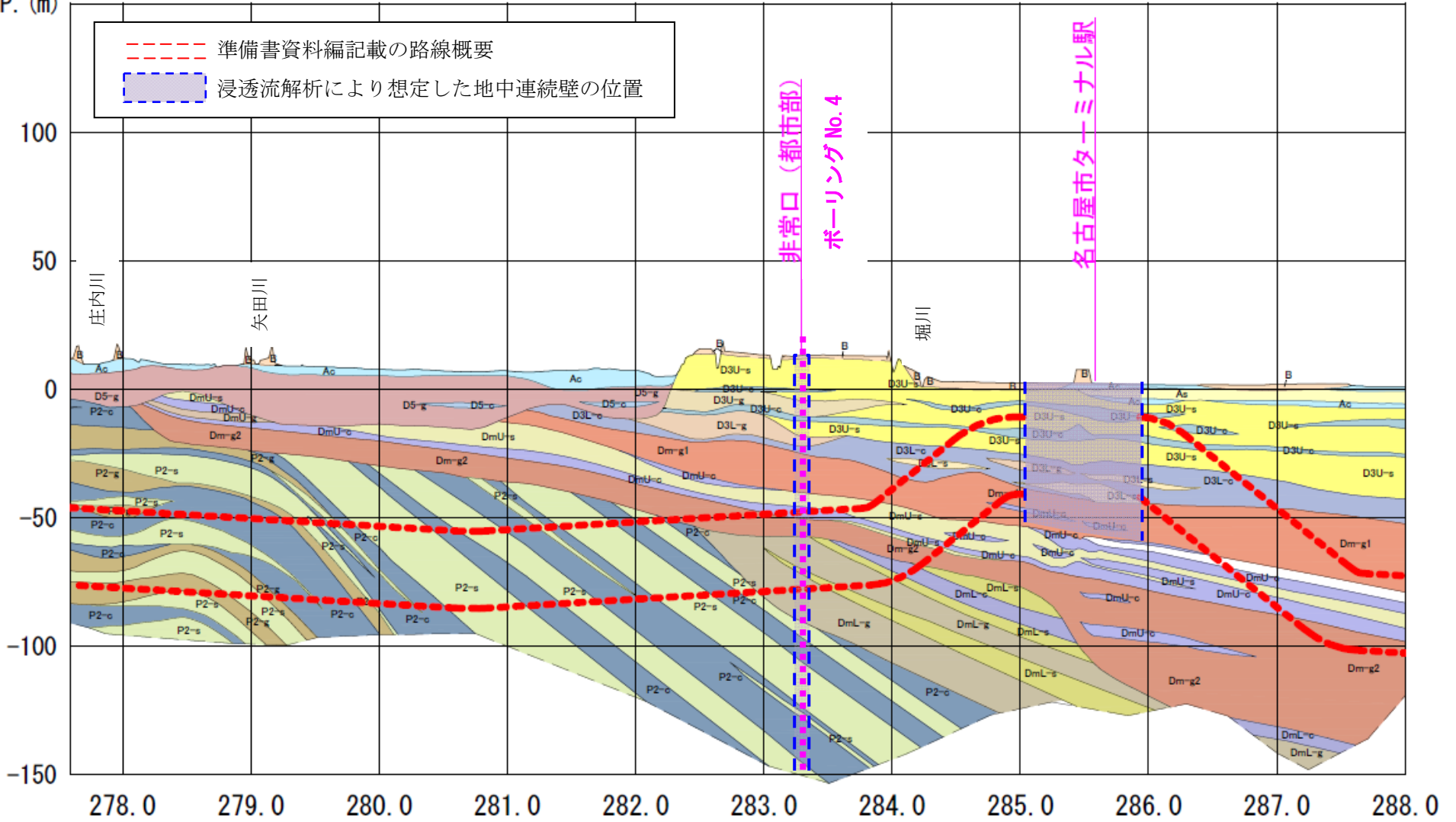
番号	指 摘 事 項	事 業 者 の 考 え 方
1	春日井市内について、トンネルよりも深い部分の地層の調査データがあるならば示していただきたい。	非常口（都市部）の周辺において、別紙のとおり地質調査を実施しております。
2	<u>変電施設、保守基地、換気施設などの建築物が具体的に示されていないが、これらの形状、色彩等を決定する具体的な方策を示してほしい。</u>	現段階で考える各施設の概要は、準備書 P20～21 に示すとおりになります。中央新幹線の建設においては、工事実施計画認可後に、詳細な設計や関係機関との協議等を踏まえて、設備の具体的な規模・配置を決定してまいります。詳細な設計に当たっては、周辺環境に配慮して検討して参ります。

※下線部は前回部会（平成 26 年 2 月 5 日）後に追加で指摘のあった内容





標高  
T.P. (m)



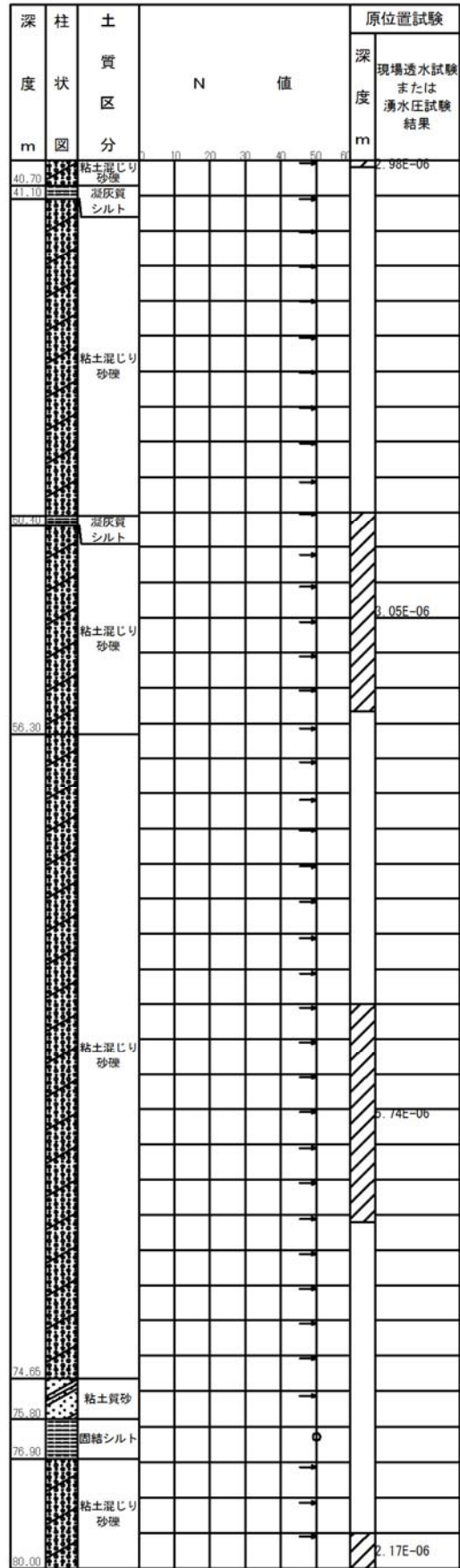
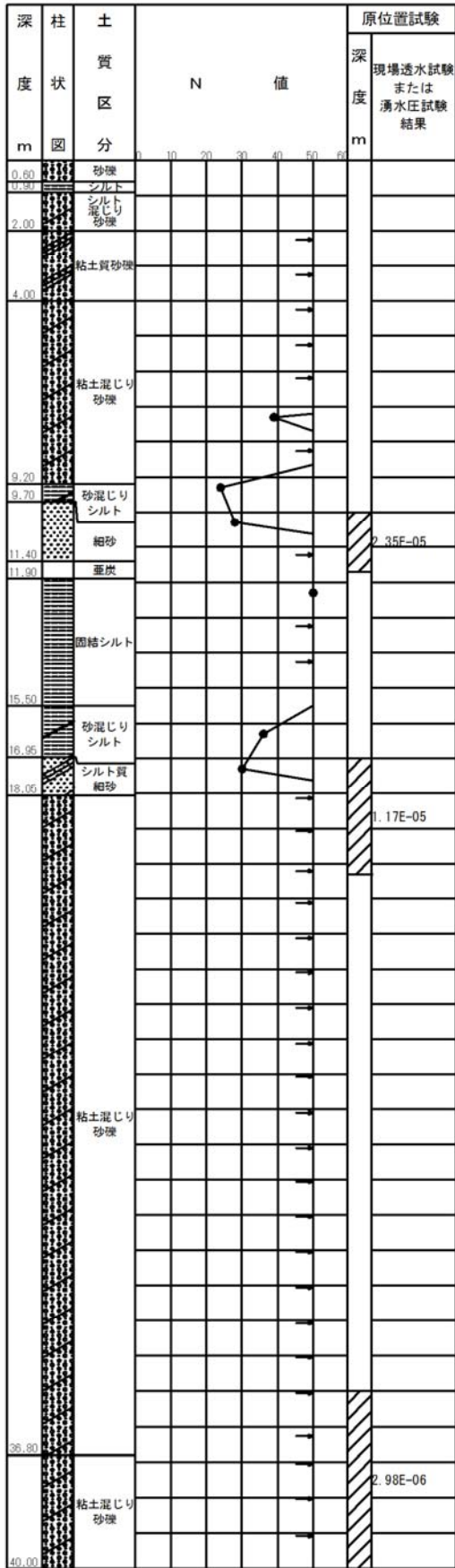
※H25.9 中央新幹線 (東京都・名古屋市間) 環境影響評価準備書において基礎としたもの

浸透流解析範囲

都市トンネル区間縦断図 (名古屋市)

表 地質区分凡例

地層名		記号	
盛土	砂質土 ～礫主体	B	
南陽層	粘性土	Ac	
	砂質土	As	
鳥居松礫層	粘性土	D5-c	
	礫質土	D5-g	
低位段丘堆積物	礫質土	T1	
小牧礫層	礫質土	T2	
高位段丘堆積物	礫質土	T3	
熱田層	上部層	粘性土	D3U-c
		砂質土	D3U-s
		礫質土	D3U-g
	下部層	粘性土	D3L-c
		砂質土	D3L-s
		礫質土	D3L-g
海部・ 弥富累層 (Dm)	第二礫層	礫質土	Dm-g1
	海部累層	粘性土	DmU-c
		砂質土	DmU-s
		礫質土	DmU-g
	第三礫層	礫質土	Dm-g2
	弥富累層	粘性土	DmL-c
		砂質土	DmL-s
礫質土		DmL-g	
東海層群	矢田川累層 (土岐砂礫層)	粘性土	P2-c
		砂質土	P2-s
		礫質土	P2-g
		亜炭	P2-l
	東郷火山灰層	粘性土	P2(To)-c
	瀬戸陶土層	粘性土	P1-c
		砂質土	P1-s



透水係数の単位 : m/s

ボーリング柱状図 (No. 1) 1/2

